

令和元年10月4日

伊丹市立西中学校学校長様

PTA 会長様

生徒の皆様

唐津・玄海観光交流社

受け入れ民家家庭

今年には本当に災害が多発し、猛暑が日本中を悩ませました。そんな日々の中、西中の3年生の皆さん、受験に向けて、ベストを尽くすべく日々を過ごされていることでしょう。心よりエールを送ります。

さて、今回思いがけず、皆様から心温まるご支援を戴き、驚きと感嘆が混じった声を挙げてしまいました。思いもかけない事でした。

ご心配戴いたように、佐賀県は先々月末、これまで体験したことのないほどの大雨が降り、家に閉じ籠っていました。テレビの情報を見続け、不安でした。時間を追うごとに、被害が出始め不安が増しました。幾つかの市町が大被害を受け、多数の被災者がでました。幸いにも唐津は特に大きな災害は起きず安堵しております。今、皆さんが心配をして頂いたことを本当にありがたく思っております。

さらに、今回のご支援は生徒の皆さんが自主的に活動されたということで、心が温かくなり、4か月も前になりましたが、5月29日、30日を振り返り、記録を取り出しました。プロフィールの写真、メッセージ、保護者さんからの一言。活動のスナップ。そして戴いたお手紙諸々。そして入・退村式での混声合唱。感動で胸いっぱいになったこと。録音していたので聞きました。「見上げてごらん夜の星を」「大地讃歌」だったでしょうか。そして唐津での2日を望んでたように過ごしてもらったかなと・・・と思い、皆さんと一緒に過ごせたことを懐かしく思い出しました。

2日間を思い出しつつ、お礼の気持ちを申しあげました。皆さんの温かい善意は有効に生かすように努めます。

是非また西中の皆さん全員の感動的な合唱を聞ける機会があれば、この上なく嬉しく思います。

最後に、校長先生、お手紙を戴いた吉田教頭先生始め先生方、生徒会長の大迫波瑠さんと全生徒の皆さん、そして保護者始め地域の皆様、どうぞお一人お一人の日々が安泰でありますように唐津の地より念じております。ご支援誠にありがとうございました。失礼いたします